

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	◎	競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・4月の初旬にG1競走を開催し、売上が確保できている。
	○	百貨店（営業企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が大きかった前年と比べると、来客数はかなり戻ってきており、売上也回復傾向に向かっている。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、ここ1～2か月で来客数が回復してきている。
	○	スーパー（総務担当）	単価の動き	・単価、数量共に前年超えて推移している。
	○	衣料品専門店（代表）	販売量の動き	・自粛期間であった3か月前よりも売上は持ち直してきたが、新型コロナウイルス発生以前の売上に戻るにはまだ時間が掛かる。
	○	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・4月の販売量は前年比128%と良くなっている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響もあるが、3月決算で出し尽くした後の納車業務に追われて十分な販売活動ができていない。
	○	乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・前月と比べて来客数が増加している。
	○	その他専門店〔時計〕（経営者）	単価の動き	・高品質の眼鏡の需要が出ている。
	○	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・1月頃には比べると時短営業も解除されたので、来客数は増加傾向にある。企業のグループでの来店も少しずつだが増えてきている。ただ、ここ1週間の感染拡大に伴い、また逆戻りするかもしれない。
	○	タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス発生以前の平常時と比べると乗客数は3～4割減少しているが、3か月前と比べるとやや良くなっている。
	○	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍でも来場意欲の高い客が多い。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少しているだけでなく、販売額も前年割れとなっている。1人当たりの購入単価が下がり続けている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・結婚式、葬式、パーティー、お茶会も開催されないの、呉服業界は需要が全くない。
	□	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・当県も新型コロナウイルス感染者が今までよりも出てくるようになり、消費者が外出しなくなっている。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあるのか例年と比べ連休前の来客数が少ない。
	□	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・前年と比べると来客数が増加しているが、高齢者の割合は低下している。
	□	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルスの影響が続いており、来客数も少ないままである。
	□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・売上は前年の2倍くらいであるが、前々年と比べると8割くらいであり、厳しい状況である。
	□	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・客のマインドが少し上向きかしてきたが、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の影響で、再度、客の行動が慎重になってきている。
□	百貨店（外商担当）	販売量の動き	・1～2か月前と比べると、販売量の前年比の伸びが若干鈍化している。緊急事態宣言が出ているが、地域の特性からすると、現状のままなら、極端な増減はみられない。	
□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの第4波が懸念されるが、高額な美術品やぜいたく品などが売れている。	
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・販売量は前年割れとなっているが、3か月前と比べると変わらない。	
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数はほぼ前年並みに戻ってきているが、客の買いだめ傾向が弱まってきたこともあり、買上点数が前年割れとなっている。	

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・客が割引セール時に集中する傾向が更に強くなり、通常日が落ち込むことから、通期の来客数が多少マイナスとなっている。来客だけでなく販売についても同様で、まとめ買いの傾向が強くなってきている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業システム担当）	販売量の動き	・全体の売上は前年を上回っているが、前年のこの時期に好調だった加工食品や米は前年割れとなっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前月末～今月に掛けて、新型コロナウイルスの集団クラスターが発生したため、来客数や売上が前年を1割以上下回っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・2019年度と比べるとまだまだ回復していない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、観光やイベント目的の訪問客が減少しているため、夕方以降の来客数が大幅に減少している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年と比べ、来客数が3割減少している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数も売上もほとんど変化していない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・4月初めに来客数が増加したが、それ以降は減少傾向にある。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、相変わらず低迷している。売上は、前年よりは良くなっているが、新型コロナウイルス発生以前の水準には戻っていない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに対する危機感が強まってきているが、客も新型コロナウイルスの影響が長く続くことに慣れてきている。ただ、第4波も現実味を帯びてきていることから、景気は3か月前と変わらない厳しい状況にある。新型コロナウイルスのワクチンの普及や医療現場の改善による安心がないと景気の回復は難しい。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [サービスエリア内レストラン]（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、景気は変わっていない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・この1か月でGo To Travelキャンペーンが再開することを期待していたにもかかわらず、変異ウイルスのまん延から緊急事態宣言の再発出になったことで、非常に困惑している。宿泊稼働もビジネス需要を取り込みながら上向きになっていたが、また下降傾向にある。宴会やレストランでは団体予約がキャンセルになり、個人の予約受注も伸びなくなっている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・4都府県の緊急事態宣言によりビジネス客、観光客共に予約のキャンセルや新規予約の伸び悩みが継続している。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスがなかなか終息しない状況で、客が旅行どころではなく、全く動けない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増加するなか、4月25日からの4都府県への緊急事態宣言を受け、地方から4都府県への旅行キャンセルが相次ぎ、地方への来客も減少が見込まれるなど、景気は更に厳しい状況になってきている。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	来客数の動き	・夜の乗車率が悪く、なかなか以前の状況に戻らない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍でも特に購買動向に変化はないが、先行き不透明のため、景気が好転する気配もない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新入学や新生活の時期だが、新型コロナウイルス禍で制限があるため、客に停滞感が感じられる。購買にも様子見の姿勢がはっきり残っている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（経理担当）	お客様の様子	・リモートやオンラインの需要があるため、サービスに関しては状況は悪くなっていない。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が拡大し、県内や近県でも感染者数が増加しているため、予約のキャンセルも増えている。

□	美容室（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べても、来客数は変わらない。
□	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、引き合いが1年以上低迷している。
□	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスとの関わりも1年が経過し、オンラインでのイベントや商談にも慣れてはきたが、メインはやはり対面である。
□	住宅販売会社（営業所長）	競争相手の様子	・経済活動は新型コロナウイルスの影響で動き、単価に変化は感じられるが、慣れの様相もあり、この数か月の動きに大きな変化は感じられない。ただ、雇用不安等で支払や購入単価の改善は実感できない。
▲	商店街（代表者）	単価の動き	・客が買物に慎重で、本当に必要な商品しか購入してもらえない。
▲	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、前年は保存食品を中心に食品の売上が好調であった。今年は巣籠り需要があるものの、客の緊張感が薄れ、節約志向が高まっていることから、来客数や客単価が前年を下回っている。
▲	一般小売店〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少し、客単価も減少している。
▲	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で来客数が減少している。婦人服は売上の確保が厳しい状況である。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・3月下旬頃から4月上旬は回復傾向に向かっていたが、中旬以降、県内も新型コロナウイルスの感染者数が急増し、年配者の来店が目に見えて少なくなっている。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが再び感染拡大局面を迎えており、来客数は減少傾向にある。また、ゴールデンウィークのトラベル関連の需要が少ないことが、売上に対して大きなマイナスとなっている。
▲	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・4月に入り全国的に新型コロナウイルスの感染者数が急激に増加しており、戻りかけていた来客数や客の購買意欲に悪影響を与えている。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が顕著になっており、売上也下降線をたどっている。
▲	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数や売上が前年割れで推移している。
▲	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・来客数は戻りつつあるものの、野菜の単価安や精肉の外国産へのシフトなどがあり客単価が低い。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・月前半は、これまで控えていたチラシの配布やイベントの開催を実施したため、売上や来客数が好調に推移していたが、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響から来客数が落ち込んできている。
▲	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価が上昇せず苦戦している。
▲	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・初回の緊急事態宣言発出後1年が経過し、外食が増加、巣籠り需要が減少していることから、来客数、客単価共に減少している。
▲	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルス禍で、パン製品が好調だったが、その反動で4～5月と大変厳しい状況にある。
▲	コンビニ（支店長）	来客数の動き	・週末の来客数は改善傾向だが、依然として来客数の前年割れが続いている。
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が減少している。
▲	家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が少なく、客単価も下振れ傾向にある。客の購買意欲も高くない。
▲	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・新規の客がほとんどなく、来客数がかなり減少しており、景気はやや悪くなっている。
▲	住関連専門店（営業担当）	来客数の動き	・ゴールデンウィークに大きなイベントを予定しているが、新型コロナウイルスの影響で、集客が不安である。

	▲	その他専門店 [和菓子] (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出の影響で、景気はやや悪くなっている。
	▲	その他専門店 [布地] (経営者)	お客様の様子	・地方も都会と同様、新型コロナウイルスの影響で、街に出る人が減少している。
	▲	その他専門店 [土産物] (経営者)	来客数の動き	・観光客はなく、地元客も減少、日ごとに来客数が減少しており、新型コロナウイルスの感染対策に手間も費用もかさんでいる。
	▲	その他小売 [ショッピングセンター] (支配人)	来客数の動き	・2～3月に掛け、新型コロナウイルスの感染者数も落ち着き、改善傾向にあったが、4月に入り、第4波が到来し、再び客の動きも鈍くなり、売上にも影響が出始めている。
	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3月に回復していた売上が、4月に入り、減少傾向にある。ゴールデンウィーク直前の4都府県を対象とした緊急事態宣言の発出は対象地域外にも大きな影響を与えており、家族や夫婦の利用の減少につながっている。
	▲	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ディナータイムの来客数が相当減っている。グループ1組当たりの人数も減少傾向にある。
	▲	観光型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・4月の前半は宿泊の予約も少し良くなっていたが、中旬からの予約はなく、以前より悪くなっている。
	▲	タクシー運転手	お客様の様子	・4月に入り、暖かくなり、本来なら外出者も増加するところであるが、新型コロナウイルスの影響で、乗車率はかなり低下しており、特に夜の乗車はほとんどない。
	▲	タクシー運転手	販売量の動き	・夜の街は相変わらず静かである。
	▲	放送通信サービス (総務経理担当)	お客様の様子	・利用料支払の延滞件数が2月以降増加している。ただ、督促による回収率も上昇している。
	▲	通信会社 (工事担当)	お客様の様子	・客の様子を見る限り、景気はやや悪くなっている。
	▲	テーマパーク (管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響で、景気はやや悪くなっている。
	▲	観光名所 (館長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの変異株が拡大しており、一部のエリアで緊急事態宣言の発出、その他の地域でも外出自粛要請があり、来館者が減少している。
	▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスを警戒し、客が外出を控えたり、来店を先延ばししたりしているため、来客数も売上も激減している。
	▲	設計事務所 (経営者)	販売量の動き	・官の仕事は全体的に少なく、あっても小規模で、まとまった大規模の仕事の動きが見られない。民間は新型コロナウイルス禍では設計契約までに至るのが難しい状況である。
	×	商店街 (理事)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で、客の消費行動が制限されている。
	×	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、景気は悪くなっている。
	×	高級レストラン (事業戦略担当)	来客数の動き	・関西を中心とする新型コロナウイルス感染者数の急増により、客足が伸び悩んでいる。
	×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・テレビで野球中継が始まったため、客が街に出てこなくなり、来客数が減少している。
	×	観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・3回目の緊急事態宣言が発出し、キャンセルが増え、来客数が激減している。
	×	都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの変異株の拡大で、旅行や飲食の自粛傾向が強まっている。
	×	通信会社 (広報担当)	来客数の動き	・購入客が減少してきている。
	×	テーマパーク (業務担当)	それ以外	・客の給料が減り、飲食店などでの消費も減少している。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
	○	繊維工業 (監査担当)	受注量や販売量の動き	・全国的に前売りが前期比プラスで推移している。ネット受注が浸透し始め、価格改定も順調に受け入れられている。

(中同)

④	○	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型連休対策もあり生産量が増加したため、時間外労働での対応を行っている。
	○	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注の回復傾向が続いている。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・自動車関係は景気が良くなりつつある。
	○	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・4月期の受注量が前年同月比で130%、ほぼ前々年の数量に近づきつつある。
	○	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・マーケティング関連の営業支援業務が徐々に動き出している。4月の運送事業者の高速道路料金の支払額も、前年割れの状況から前々年並みに回復している。
	□	食料品製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルス禍で、現時点では景気に変化する様子はない。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの拡大により、不確定な要素はあるが、住宅関連事業は思ったほど景気が悪化していない。ニューノーマルを見据えた販売方法が定着しつつある。
	□	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産状態等に大きな変化はないが、営業部門の活動制限が売上に与える影響が定かでないため、見通しが難しい。
	□	鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・景気は今年に入って横ばいが続いている。
	□	非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子材料関連の受注が堅調に推移している。
	□	金属製品製造業（総務担当）	取引先の様子	・客が増産を見込んでいるが、当社に関連する機種の生産は横ばいと報告があったため、現状の受注量で推移しそうである。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・発注時期が遅れるケースはあるものの、予定物件は受注につなげることができている。
	□	輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・海外向けの受注数量が堅調に推移しているが、業種によりばらつきがあり、全体では受注数量に変化はない。
	□	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・電子商取引の発注が好調で、新たな需要も出ている。企業からの受注量は微減であるが、個人市場は好調である。
	□	輸送業（総務担当）	取引先の様子	・取引先からの受注量は3か月前とほぼ変わっていない。
	□	通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・新年度における新たな需要は、年度末の駆け込み需要とほぼ同等になっている。
	□	金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・地元完成車メーカーの世界販売が、新型車の伸び悩みを主因に依然として計画を下回っている。このため、系列の地元部品メーカーの受注は、ピーク時の8～9割程度で推移している。ただ、部品単価の上昇もあり、月次採算は堅調なメーカーが多い。
	□	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、イベントが中止、延期、縮小となり、受注量の減少が継続している。
	▲	農林水産業（従業員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響が再び出始めたことで、飲食関係などが悪くなっている。
	▲	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量や販売量が減少している。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・部品等の仕入先である取引先においてクラスターが発生したことで生産中止等により部品調達が遅延している。また、代替先の選定も困難な状況にあり、社内の生産に影響を及ぼしている。	
▲	輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客からの受注量は内示に対して減少している。	
▲	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・ヒト、カネ、モノの動きからも、飲食店、観光業等多くの業種で、景気は停滞若しくは後退している。	
▲	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数が2～3か月前と比べると落ち込んでいる。	
×	—	—	—	
雇用	◎	—	—	

関連 (中国)	○	人材派遣会社 (支社長)	求人数の動き	・求人数、求職者数共に、新型コロナウイルス発生以前の数値を超えてきている。業種に大きな偏りもなく、雇用市場全体の回復を感じる。
	○	人材派遣会社 (経営戦略担当)	求人数の動き	・3月の新規求人数は前年を超える水準であったが、4月の新型コロナウイルス第4波の影響により減速傾向となる。
	○	学校 [大学] (就職担当)	採用者数の動き	・学内合同企業説明会の案内を送ったところ、すぐに募集枠が埋まるなど企業の採用意欲を感じる。
	□	求人情報誌製作会社 (経営者)	周辺企業の様子	・季節要因で、求人数が増加しているが、景気は良くなっていない。
	□	求人情報誌製作会社 (営業担当)	求人数の動き	・接客サービス業では一部、採用縮小、採用中止する企業も散見されるが、中堅中小企業の採用ニーズは依然として強い。
	□	求人情報誌製作会社 (広告担当)	雇用形態の様子	・新卒採用の動きについては、採用予定人数が、前年に続き、若干減少傾向にある。プレ期間の広報活動の一環でもあるインターンシップについては、前年の同時期と比べ、少人数の対面で実施する予定の企業が増加している。大手企業は前年同様、Webによるインターンシップを実施予定である。学生の満足度は実際の現場での仕事体験ができる対面での実施の方がWebよりも断然高い。
	□	新聞社 [求人広告] (担当者)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの第4波に対して懸念はあるものの、周辺企業の様子を見ると、企業活動自体は観光、レジャー、飲食関係を除けば、通常に戻っており、雇用創出の動きもある。
	□	職業安定所 (雇用関連担当)	求職者数の動き	・新規求人数は前年と比べ増加、有効求職者数も増加している。
	□	民間職業紹介機関 (職員)	採用者数の動き	・前年に新型コロナウイルスの影響で内定取消しを行った飲食関連企業が、当時採用を検討していたポジションで求人を再開している。
	□	学校 [短期大学] (進路指導担当)	求人数の動き	・求人数は前年の同時期と余り変わりなく、景気は回復していない。
	▲	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・新年度を迎えて求職者の動きが鈍くなっており、新規の応募数も減少している。
	▲	職業安定所 (所長)	求職者数の動き	・自己都合離職者が増加傾向にあり、新規求職者数が前年を上回っている。特に介護施設や医療関係事業所の退職者が目立ち、長引く新型コロナウイルスの影響が少なからずある。
	▲	職業安定所 (事業所担当)	求人数の動き	・3月の新規求人数を前年と比べると23.7%の減少、有効求人数も前年から25.9%減少している。一方、新規求職者数を前年と比べると19.2%の増加、有効求職者数も前年から20.4%増加している。有効求人倍率は2月の1.57倍から3月は1.43倍に低下している。産業別では、新型コロナウイルスの影響で、卸売・小売業や宿泊業・飲食サービス業などの雇用環境が悪化している。
	▲	民間職業紹介機関 (求人・人材採用担当)	周辺企業の様子	・例年であれば求人ニーズが高まる時期ではあるが、新型コロナウイルスの再拡大に伴い、予定していた採用が取り消しになったり、採用の見通しが立てられなくなったりする企業が増加してきている。
	▲	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・緊急事態宣言の発出を受けて、地方でも外出をためらう人が増加しており、景気は飲食業やサービス業を中心に停滞している。
×	—	—	—	—